

DXデビューしませんか？

～県内企業のDX事例の紹介～

ふくいDXオープンラボは、DX技術の導入支援や人材育成を支援しています。

ここでは県内企業のDX導入事例を紹介します。

警備業の課題から VR研修コンテンツの開発へ

2016(平成28)年、清掃・警備の2事業でスタートした同社は現在、3つ目の事業としてVR関連商品の開発・販売を進めています。

警備業のDXを掲げ、VR事業を発足させたのは2021年12月。警備業は法律による規定の研修が定められ、現場でも法律遵守の業務が求められています。業務の慣れからしばしば、いわゆる「ヒヤリハット」を起こすことがあったのだそうです。

事故の危険性を体感できる研修方法はないか代表取締役の桶師康司氏が検討したのがVRによる研修



教材の制作。VRで交通誘導をシミュレーションし、ヒヤリハットにつながる事例を未然に防ぐことを考えたのです。

VR研修に手ごたえ

これまで清掃業務の管理アプリの企画・運用は行っていましたが、VRによるシステム開発は初めて。同社と外部パートナー企業計3社からなる開発体制を組み、関連法規や教本などを確認しながら、約半年かけて開発を進めました。

担当した吉村氏によると、専用アプリと市販のVRゴーグルを組み合わせる同システムの導入は効



誘導のイメージが掴めるので、未経験者でも安心できる。

果てきめんでした。「交通警備の経験がない人に、映像教材や教本だけで現場の空気感を伝えることは難しい。VRだと現場の危険性を体感しながら研修できます」。Googleで見ている画像を外部ディスプレイで共有できる機能もあり、研修者の理解度を指導者が把握できるのも特長です。

教育分野におけるVR市場に期待

VR研修コンテンツの完成後、社外向けにもパッケージ商品として展開、同年末までに全国約50社に納品しました。納品先からは、「研修を複数人で行うことでコミュニケーションが活発になる」「警備のチームワークが良くなった」「求人の際、同業他社との差別化材料になる」などの評判が寄せられています。

吉村氏は教育分野におけるVR市場の広がり期待を寄せます。「映像教材の研修は受動的になりがちで、ロールプレイング形式では時間や予算、講師の手配など制約が多い。VRはエンタメ分野に話題が集中しがちですが、実は教育分野での相性がとてもよいのではと思います」。

同社はサービス業や製造業などへの進出も視野に、助成金を活用した新たなコンテンツの開発も検討中。VRやDXなどの展示会にも積極的に出展の予定です。

NABULU

交通誘導VR



同社が販売しているVRソフトブランド“NABULU”

▲プロモーションビデオはこちら!

会社概要

株式会社アルハート

[コーティング施工管理業、清掃業、警備業、VR開発・販売]

福井市問屋町3丁目1101

代表者: 代表取締役 桶師 康司氏

TEL 0776-63-5763 FAX 0776-63-5769 URL <https://ar-heart.com/>



お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター DX推進チーム

TEL: 0776-67-7416 FAX: 0776-67-7439 E-mail: dx-t@fisc.jp